



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための 光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！」
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川 恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」
「心を尽くしてYMCAのために」

今井 武彦 (東京むかで)
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年10月会報

強調 テーマ

* A S F *

アレキサンダー奨学基金

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 押山 愛紀子

↑ 今月の聖句

わたしの言葉を聞いて、それを守らない者がいても、わたしはその者を裁かない。
わたしは、世を裁くためではなく、
世を救うために来たからである

ヨハネによる福音書 12章47

If people hear my message and do not obey it,
I will not judge them.
I came, not to judge the world, but to save it.
(村野 繁 選)

- | | |
|-------------------------------|--------------|
| 司 会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | |
| 5. 会 食 | |
| 6. ユースボランティアリーダーズフォーラム (YVLF) | 参加報告 |
| 7. ハッピーバースデイ 10/1 | 川嶋 良子さん |
| 10/17 | 峰 毅 君 |
| 10/27 | 岩崎 晴美さん |
| 10/28 | 岩崎 弘 君 |
| 8. 結婚記念日 | 10/28 秋田 正人君 |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 10月例会プログラム

と き 令和5年10月20日(金) 19:00~21:00
と ころ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電 話 03-3420-5361

9月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者 9月15日(金)	9月のBF他献金	ニコニコファンド 9月 6,040円 年度計 28,073円
	出席率	83%	会 員 8名 メネット 0名 イキャップ 1名 ゲスト 1名 ビジター 1名 合計 11名	切手 0g 現金 0円 累計切手 0g	
	第2例会 9月28日 YMCAすずらん会		すずらん会 再開 ゲスト 2名 スタッフ 6名 合計 8名	2022~2023年度 自主献金については 今期もクラブからの 献金としました	

本日のメインプログラム

第35回YVLFテーマ：「私たちにとっての みつかる。つながる。よくなっていく。」

・基調講演者：小倉哲さんご夫妻*

今、YMCAの活動は多様化しているため、その活動を支えるリーダーの活動も様々です。野外活動、ウェルネスに加え、特別支援教育、放課後等デイサービス、語学教育、福祉等の分野でリーダーたちが活躍をして。

「共に何を学ぶのか、それらの活動に共通することは何か」を考え、そして「どのように人に向き合い」「どのように仲間を作るか」「どのように人間として成長するか」の3つの視点を柱にしたフォーラムから報告。

報告者

- ・横江翔太 君（シドニー）－全国リーダー研修会
- ・坂本優希 さん（わかめ）－YVLF
- ・小野田ももの さん（ポルカ）－YVLF

※ 9月例会報告

夏キャンプの報告



渡辺 敦君（キャンプネーム・丹波）より

8月22日～24日 山中湖センターで開催されたサマーキャンプに参加した報告をいただきました。

山中湖センター100周年記念募金による「キャンプ100人招待プログラム」の第2弾。外国にルーツを持つ子供たち（ウクライナ、ネパール、モンゴル、中国）20名が招待されました。

渡辺 敦君は、中央大学在学中、サークルの先輩に紹介され、西東京センターのリーダーとして活躍。今回リーダーOBとして有休をとりサマーキャンプに参加されました。

参加者には、日本語をほとんど理解できない子どももおり、コミュニケーションに壁があるなど感じ、リーダー会で、コミュニケーションの取り方を話し合い、母国語で話すこともできるだけ皆で共有し、遠慮せずに自分から関わろうと。協力やチャレンジの姿からキャンプとしての一体感がうまれて。ボディランゲージなど工夫をし

ながら 歌、呪文、花火、カヌー漕ぎ、その他の活動をとおり、楽しさ、面白さは伝わり、交流も深まって。

学生、社会人、YWCAの方々と共に、2泊3日の短いプログラムでしたが大変盛り上がったサマーキャンプとなったと思います。



皆で 漕いだ ビッグカヌー



大変盛り上がった キャンプファイアー



山中湖センター100周年記念募金

募金目標額：2,000万円

募金使途 ① キャンプ100人招待プログラム

② プログラム施設の新設

③ 宿泊塔・各施設のリノベーション

募金方法 クラウドファンディング（10/1～12/30）

銀行振り込み、窓口募金（11/1～3/31）

東京YMCAホームページをごらんください

東京世田谷クラブとして

10万円の記念募金をいたしました。個人としてもご支援を宜しく願いいたします。

※ 第27回 東新部 部大会 地の塩、世の光になろう

10月7日(土) 東陽町センター(13:30~17:30)
山田公平 東日本区理事、星野太郎 東京 YMCA 副総主事
にご出席いただき、今井部長の力強い点鐘(打卓・むかで
方式)で開始を。

神保伊和雄 実行委員長の思い。シニアでも、明るく楽
しく今日の日をと。シニア Y・Y・Y キャンプ体験を。松ぼ
っくりでの習字(アート)、お茶会、キャンプソングを歌
う、フラダンス体験、と各グループに分かれ楽しく、面白
い一時を過ごして。懇親会ではネパールで開催された、
アジア YMCA 大会に参加したユースの頼もしい体験報
告を伺うことができた。小川会長、岩崎、渡邊、小原が参
加を。

※ ワイワイコンサート

9月18日(祝) 13:30~16:30

東新部 Y 友広場: ワイズライブを楽しもう企画
歌: 渡邊実帆さん シンセサイザー演奏: 下山英二さん
下山英二さんの巧みなシンセサイザー演奏、渡邊実帆さ
んの澄んだ歌声に、シニアメンバーしばし感激。

※ 第37回東京 YMCA チャリティーラン 2023

9月23日(祝) 都立木場公園特設コース
東京 YMCA 南居場所と西居場所の合同リーダーチーム
「南西の風」大活躍で、19位に食い込んで。
益金は 5,176,000 円となりました。



※ 賛育会・チャリティーコンサート 2023

賛育会病院建て替え事業支援、新型コロナウイルス感染症で
疲弊した地域の方々に向け、「ともに生きる音楽会」を
開催。(8月卓話者、大江 浩さんご紹介)
指揮: 和田一樹氏、パイプオルガン: 湊恵子氏
管弦楽: 新日本フィルハーモニー交響楽団
司会: 岩崎瑞穂氏

軽妙な語り口で楽曲の紹介は岩崎瑞穂さん、さすが歌
のお姉さん、「となりのトトロ」をオーケストラ・スト
ーリーズで、眠りの森の美女、白鳥の湖、くるみ割り人
形、バレエ組曲の競演を堪能できたコンサートでした。

※ 会長通信 2310

10月です。ゆっくり来た秋は急に深まりました。これ
からやってくるクリスマスの喜びは、今月の聖句に告げ
られた「救い」のメッセージに象徴されるように思われ
感謝します。

思えば阪神淡路大震災の年、当時小原会長の世田谷ワ
イズに導かれ、YMCA の PTA になりたいとの思いに駆られ
ました。その頃クラブには牧師のメンバーもいらして、
妻と二人で受洗の決心をしました。その後 YMCA すずらん
会をスタート、東日本大震災の折には何度も石巻や女川
の被災地に伺いました。音楽ボランティアを通してワイ
ズ YMCA の仲間が広がりました。途中でメネットが召され
るという試練のなか、すべては世田谷ワイズの活動とし
て祝福されました。

世田谷ワイズへの感謝を持ってメンバーとしての活動
を少しずつ閉じて参ります。次月は世界のワイズへの提
言を書きたいとおもいます。

※ YMCA NEWS

1. インターナショナル・チャリティーラン開催

障がいのある子どもたちの支援のため「第37回東
京 YMCA インターナショナル・チャリティーラ
ン」を9月23日(土祝)、4年ぶりに都立木場公園
で開催。38チーム計228人のランナーと伴走者が
力いっぱい走りました。レース前の「こどもラン」
には幼児・小学生とその保護者あわせて約300人が
参加。ボランティア・スタッフ約230人と応援者を
合わせると来場者総数は1,500人を越え、にぎや
かな大会となりました。

また、駅伝大会に加え、歩数計アプリを利用したウ
ォーキング大会を16日間にわたり同時開催。この
日は個人レースの最終日、チームレースの初日にも
なりました。大会の参加費は1チーム10万円。各
チームとも募金を集めたり社費を計上したりと、
それぞれに工夫し、小雨がばらつくあいにくの天気
にもかかわらず走りこぎていただきました。おかげ
さまで支援金総額はオンラインのウォーキング
大会とあわせて5,176,000円となりました。

2. 山中湖 100 周年関係行事

① 東京 YMCA 山中湖センター100周年記念募金のお
願い(10/1~)

山中湖センターは今年、開設100周年を迎えまし
た。

これまで山中湖センターを支えて下さいました皆様への感謝と共に、キャンプ場を未来に向けて維持発展させていくための募金を行います。

皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 【目標】 2,000万円
- 【使途】 1. キャンプ100人招待プログラム
2. プログラム施設の新設
3. 宿泊施設リノベーション
- 【募金方法】 ●クラウドファンディング (10/1~)
●銀行振込、窓口 (11/1~)

② 山中湖センター100周年記念感謝会

山中湖センター100年の歴史への感謝と次世代への持続的な進化を願い、記念感謝会を開催します。

【日程】10月28日(土)

【会場】東京YMCA山中湖センター

③ 山中湖センター100周年記念コンサート

山中湖センター開設100周年にあたり、キャンプ場の維持発展と青少年育成のための募金活動の一つとして、コンサートを開催します。

【日程】10月20日(金)

【時間】開場/18:30、開演/19:00

【会場】日本基督教団 霊南坂教会

【費用】チケット 3,000円

【出演】ヴィオラ 飯 頭、オルガン 飯 靖子 他。

3. 外国にルーツを持つ子どもたちの日本語・学習支援「サニーサイド」のご案内

日本で暮らす外国にルーツを持つ子どもたちの学習・日本語サポートプログラムを開始します。皆さんの周りにいる日本で暮らし、困難を抱えている「外国にルーツを持つ子どもたち」にぜひプログラムをご紹介ください。

【場所・日時】

●経堂 水曜日 16:00-18:30

●国立 木曜日 16:30-19:30

【参加費】300円/1回

4. liby 報告

9月は22日におでかけを実施し、代々木八幡のお祭りに行きました。雨乞いのお祭りらしく、しっかりと雨に降られましたが、あまりの雨で雨宿りした

ハプニングも楽しかったようです。参加したメンバー3名、リーダー4名でした。

5. 今後の主な行事

・「ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会」

11月6日~8日 会場：台北YMCA

テーマ：「神の視点と聖書の知恵から現在の経済状況に向き合う」

・「YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝」

11月16日 会場：山手センター

メッセージ：李省展(イ ソンジョン)氏

(恵泉女学園大学名誉教授)

・国際協力街頭募金

11月18日

場所：新宿 時間：12時~16時

・「バングラデシュスタディーツアー(2/8~17)」

説明会実施中 9月~12月

今春亡くなった大江健三郎さんが1994年にノーベル文学賞を受けた際、記念講演で語っている。「痛苦とともに、日本人は新生へのモラルの基本として、不戦の原理を選んだのです」(「あいまいな日本の私」)。憲法9条にこだわった作家らしいスピーチだった。

▼この年の平和賞は初の3人同時受賞である。イスラエルのラビン首相とペレス外相、そしてパレスチナ解放機構(PLO)のアラファト議長だ。長く敵対してきた両者はこの前年に歴史的和解を果たした。米ソ冷戦の終結からも間がない。戦火のない世が近づいているのでは。かすかな期待をいただいた記憶がおぼろげに残る。

▼当時の記憶を読み返せば、楽観が過ぎたようだ。「我々は和平構築の途中にある。仕事は困難で複雑だ」。当事者の言は喜びではなく未来への覚悟だった。受賞への反発も強く、選考委員の一人が辞任する騒ぎがあった。すでにハマスによるテロも報じられている。あれから29年。残念ながら、火は勢いを増している。

▼天に向けて伸びるロケット弾の航跡。黒煙に包まれ崩壊するアパート。昨年からの欧州で続く光景が、かの地でも繰り広げられている。犠牲者の中には子どもやお年寄りもいるのだろうか。絡み合った憎悪の糸を解きほぐすのはそう簡単ではないかもしれない。それでも、不戦の重みを知る私たちにできる何かを探りたい。

日経新聞 春秋 2023.10.9